

■ はじめに

キヤノンマーケティングジャパン製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。  
このリリースノートには、ESET Endpoint アンチウイルス for Linux V10.2 を正しく  
ご利用頂くための情報が記載されています。  
本製品をインストールする前に必ずお読みください。

■ インストール前の注意事項

本製品をインストールする前に、以下の内容を確認してください。

- ・ 本製品をインストールする前に、すべてのプログラムを必ず終了してください。
- ・ 本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされていないことを確認してください。本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされている場合は、必ずアンインストールしてください。
- ・ 本製品をインストールする場合は、root 権限 (スーパーユーザー) でインストールしてください。
- ・ 本製品はセキュア OS の AppArmor には対応していません。
- ・ 本製品は SELinux には対応していません。
- ・ 本製品は AWS カーネルを利用した Linux ディストリビューションはサポートされていません
- ・ 本製品をインストールするには OS リポジトリに接続できる必要があります。
- ・ 本製品のインストール時に不足しているパッケージについてはインストール時に合わせて OS リポジトリから取得しインストールされます。
- ・ 本製品のインストールを行う前に、導入されているプログラムをアップデートしてください。
- ・ 本製品は ESET NOD32 アンチウイルス for Linux Desktop V4.0 からの上書きインストールには対応していません。

- ・ 本製品をインストールするコンピューターに前提となる要件を満たしているか確認してください。
  - プロセッサー Intel/AMD x64
  - 700MB のハードディスク空き領域
  - openssl 1.1.1 以降のバージョン
  - UTF-8 エンコーディングを使用する任意のロケール
- ・ 本製品をインストールするコンピューターには、上記記載のプログラムほかに次のプログラムがインストールされます。
  - gcc
  - make
  - libelf-dev
  - linux-headers-generic
  - linux-headers-generic-hwe

※ 不足している記載パッケージと依存性関連のパッケージが OS リポジトリより取得、導入されます。

#### ■ 製品マニュアルについて

本製品のマニュアルにはオンラインヘルプとオンラインヘルプ補足資料があります。はじめにオンラインヘルプ補足資料を確認してください。オンラインヘルプ補足資料は「ユーザーズサイト」よりダウンロードすることが出来ます。

ユーザーズサイト

<https://canon-its.jp/product/eset/users/>

オンラインヘルプ

<https://help.eset.com/eeau/10/ja-JP/>

■ 使用上の注意事項について

本製品を使用する前に、以下の内容を確認してください。

□ ミラーサーバーを使用したアップデートについて

本製品をミラーサーバー経由でアップデートする場合は、ミラーツールの `--updateServer` オプションを使用して Linux 版のモジュールを取得したミラーサーバーを作成する必要があります。

詳細については以下のオンラインヘルプを参照ください。

[https://help.eset.com/protect\\_install/11.0/ja-JP/mirror\\_tool\\_windows.html](https://help.eset.com/protect_install/11.0/ja-JP/mirror_tool_windows.html)

□ AppArmor について

デフォルトで有効になっている AppArmor は無効にするかアンインストールしてください。

AppArmor が有効のままだと EEAL が正しく動作しないことがあります。

□ 検出除外について

本製品の検出除外については ESET PROTECT(以降、EP)のポリシーではなく、EP の[検出] より除外する検体を選択、[除外の作成]より検出除外に登録してください。

詳細については以下のオンラインヘルプを参照ください。

[https://help.eset.com/protect\\_cloud/ja-JP/create\\_exclusion.html](https://help.eset.com/protect_cloud/ja-JP/create_exclusion.html)

□ 自動アップデートについて

本製品の自動アップデート機能を利用して製品のアップデート後、再起動するとまれに「モジュールアップデートが失敗しました。アクティベーションされていません。」とセキュリティアラートが表示されることがあります。

バックグラウンドでモジュールのアップデートが行われており、モジュールアップデートが完了するとステータスが正常に戻りますので、モジュールアップデートが完了するまでしばらくお待ちください。

□ デバイス制御について

デバイス制御でSDカードはサポートされていません。

□ リポジトリへのプログラム公開について

本製品のリポジトリ公開ですが、同世代のEP以降で公開される仕様となっています。そのため本製品バージョンより古いEPをご利用の場合、最新のプログラムが公開されない場合がございますのでご注意ください。

■ 既知の問題について

本製品には、以下の問題と制約があります。

これらの問題については、将来のリリースで修正される可能性があります。

最新の情報につきましては弊社製品ホームページのQ&Aをご確認ください。

ESET 製品 Q&A ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/support/>

プログラムの変更点について

[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/2293?site\\_domain=business](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/2293?site_domain=business)

□ 隔離から復元した検体が即時に検出されない現象について

本製品で隔離した検体を復元する場合、復元した検体がリアルタイム検査で即時に検出されない現象を確認しております。

□ 標準出力にエラーが表示される現象について

本バージョンをインストールまたはアップデートする際、標準出力に「N: ファイル<インストーラパス>がユーザ'\_apt'からアクセスできないため、ダウンロードはrootでサンドボックスを賭さずに行われます。 - pkgAcquire::Run(13:許可がありません)」とメッセージが出力される現象を確認しております。表示上の問題でインストール処理は正常に行われていることを確認しております。

□ イベントログにエラーが出力される現象について

モジュール更新が行われた際、イベントログに「Web とメール保護サービス モジュールインターネット保護機能を再読み込みできません」と出力されることがあります。

本現象が発生した場合は、モジュールを最新の状態に更新した上で、以下のいずれかの操作を行ってください。

- ・ Web アクセス保護機能を一度無効にした後、有効に戻す
- ・ OS を再起動する

■ 製品情報

本製品に関する情報は、以下の URL から参照することができます。

ESET 製品ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/business/>

ユーザーズサイト：

<https://canon-its.jp/product/eset/users/>